

## 在特会の論理 (5)

——「普通に生活できる時代」を取りもどしたい E 氏の場合 ——

樋口 直人

### 1. 問題の所在——運動参加における「不満」の位置

社会運動研究のなかでは古い常識と化しているが、1970年代を境として運動参加の要因に対する理解が大きく転換した (McAdam 1982)。それまでは、社会関係の解体→不安、期待と現実の乖離 (相対的剥奪)——要するに「不満」が運動参加の要因とされてきた (松本 1985; Oberschall 1972)。これは、運動参加の目的は不満の解消であり、社会運動が目的達成のための合理的な行為ではないという見方を伴っている<sup>1</sup>。それを批判したのが資源動員論と一括される一連の議論であった。その立場を明確に打ち出した議論では、社会における不満の総量は変化しないものと考えるべきであり、不満よりも動員しうる資源の量によって運動の発生は説明できるとした (McCarthy & Zald 1987)。

本稿の文脈では第1に、在特会を「不満」というプッシュ要因で説明するか、「資源」というプル要因で説明するかという違いとして解釈できる。現実には「在日特権」なるものの根拠が薄弱な以上、実態的な在日特権をめぐる発する不満によって運動参加をどこまで説明できるのか。そうであるならば、在特会にとっての資源とはどのようなものなのか。第2に、在特会を非合理的で社会病理的な集合行動として扱うのか、一定の目的合理性を持った集合行為として扱うのかという相違がある。つまり、「社会の底辺で孤立した若者」が「鬱屈した心情のはけ口」として「自分より立場の弱い者を標的にする」、こうした通念的な見方 (別稿で詳述) は妥当なのか否か。

筆者自身は、在特会の主張自体はヘイトスピーチだと思うし、社会科学的にみて妥当性がなく、職業的社会学者として議論する気にもならない (ユダヤ人の陰謀)と同様にまじめに取り上げる価値のない水準だと考える。だが、そうした主張の内容とは別に、一定の一貫性がある理念の実現を目指した目的的な集合行為として在特会をみることは可能だとも考える。その意味で、在特会の主張とは別に参加者の熱意

や動機を病理と切って捨てるのは社会科学的な正確さを欠くだろう。筆者が在特会調査に着手するに際しての基本的な立場はこのようなものであり、こうした論点に関わる参加者の1人として、E氏 (40代女性) に対して、2011年6月11日に聞き取りを実施した。

### 2. 政治に対する関心

《民主党への不信感》

(政治に対する関心は) 全然なかったです。昔は自民党政権でしたから、別に一般人は興味持たなくても上の人が適当に何かやってくれるだろうと。(選挙には) 国民の義務ですから。行っていました。全部行っていました。(投票先は) 自民党でした。みんなが宮沢 (喜一) はダメダメといっているけど、私からみるとまあまあよくやっているのかなと。まあ100点ではないけども。まあ、少なくとも今の菅 (直人) さんよりは全然いいと思ってるんです。

羽田 (孜) さんが出てたときは民主党に何度か入れたことがあったと、昔の民主党というのは今と違って結構大人しかったです。社会党にしたって昔は結構こう、何ていうんですか、下の人を対象に動いてくれていたのが、まあがんばっているなという感じは持ってたんですけどね。(2009年総選挙では) 自民党でした。

ただ、いつ頃かな、(民主党政権になって) 鳩山 (由紀夫) さんが出たあたりから「ちょっと民主党っておかしいな」って何か感じていたんです。鳩山さんって、ホメオパシーを保険の対象にするって言っていたでしょ。ホメオパシー。フラワーエッセンスを使った治療をするとか、オカルトですよあれ。それとか催眠療法を使って治すとか、霊気を使うとか。私はそれを聞いてこんな人が国のトップになっちゃったら、この国とんでもないことになっちゃうと思って、ちょっとそれが (きっかけで) 反民主に傾いたんです。

(支持政党は) ないですね。たとえば、菅さんが今回の震災の件とか原発の件もそうなんですけども、正しいことやれば私だって民主を支持してますよ。今回の件もそうなんですけど、菅さんがやっていることと

<sup>1</sup> この議論のその後の展開については、Buechler (2004) を参照。

いうのは結局東北の人をいじめるようなことしかしないから。だから私はますます民主党が嫌いになっちゃうんです。

#### 《過激派嫌い》

小さい頃からちょっと日本の報道ってへんだな、と何となく感じてたんです。たとえば 60 年代とか 70 年代の電波とかテレビって、なんかこう政府に対して反対する人がヒーローとか、警察に対して挑戦するのがヒーローだみたいに取り上げている点が多いけど、それはどうなんだろう。「飛龍伝」という舞台があったんですけど、ご存知ですか。つかこうへいの。結局あれってテロリストですよ。テロリストを果たしてロミオとジュリエットにするの、どうなのかな。素敵な恋と。何かあんまり私、女だから、血を流すとかそういうの好きじゃないんです。それとか「女囚さそり」とか。でもやっぱり当時の若者、そういうことするのがかっこいいと思ってたんですよ。

で、まあ高校に進みました。そうすると結構、「先生は若い頃、日本赤軍に入ってたんだぞ」とか「浅間山荘の事件、先生かっこいいと思うぞ」という人、結構いたんですよ。要するに、「人を傷つけるような活動って、先生どうなのかな」とちょっと思ってたんですよ。でもみんなはそういう先生をみて、先生かっこいいというから、それをへんだと思う私がへんなのかなって、ちょっと悩んだ時期があったんですよ。

### 3. 外国人との接点

思い出しているのは高校の頃なんですけど、なんか在日の先輩とか結構いたんです。まあ私、昔は朝日新聞読んでたから、朝日新聞これ日本は過去悪いことして在日の人すごいかわいそうなことしたから保護しなければいけない、といってまあ一種洗脳されていた時代があったんですよ。で、その時に中国大陸に行っていた国語の先生がいて、生徒に「あいつらは在日だからあんまり仲良くするな」って言われていた時代があったんです。私それ聞いたとき、それちょっとひどいよって思ってたんです。

まあ、それから大人になりまして、まあ〇〇っていうエリアに在日の方が多かったんですね。別に何にもなく、最初は派遣社員で働いてまして、次に正社員で働いたんですけども、その会社っていうのが中国とか韓国を相手に機械を輸出する会社だったんですよ。どうやら内部の方の話だと、韓国でいろいろ見聞きする日本人の話だと、日本のマスコミの報じている話とずいぶん違うというのは随分聞かされるんですよ。それ、今韓国の人が日本との戦争については昔はそうい

うことがいろいろあったね、くらいにしか思っていない。それが一つと、実は竹島についてもそんなに欲しがっているわけではないです。とりあえず上の人が竹島は我々の領土だって言っているから、とりあえずそうだそうだといっているけれども、別にどっちでもいいというのが現地の人の考えだって。ただやっぱりこれ、竹島を韓国に返せ返せって一番やかましく活動しているのが日本人だって言うんですよ。まあ左側の。

### 4. 東アジアに対する関心

(拉致について)やっぱりいけないと思うし。でも、その頃は拉致に対して動いている団体があるっていうのを知らなかったんです。

(北京五輪については)それは2ちゃんねるで。たまたまそういう板がトップに出ていて、そこで見てたんです。フリーチャットで検索して出たような気がしたんですけど。あのね、(自分は)ある業種に入ってしまったて、2ちゃんねるに自分のこと書かれてたらどうしようと思って、板を見てたんですよ。そうしたらたまたま誰かがフリーチャットというのを書いていたから、それで自分で逆に「フリーチャットって何だろう」と検索して。

長野で暴動があったというのがあって、それはYoutube だったかと、ニコニコだったかな——動画サイトで(見ました)。2ちゃんねるに「ここみてごらん」とあったから——記憶が曖昧ですけど、もしかしたら大規模オフ板だったかもしれないし。何か女の子が中国の旗に囲まれてわーって泣いていたんです。…そう思い出した、Biglobe のトップのニュースに出ていました。

(そうして)ネットで調べているうちに、これはちょっとよろしくないというのがあったのと、中国に関しては、北京オリンピックの長野の行進での暴動を知って、これはちょっとやばいかなと思って。で、フリーチャットに参加したことがあったんです。あ、胡锦涛が来た年です(2008年)。

ただ、その後私なりにちょっと調べると、なんかそんな単純にフリーチャットって支援できるものじゃないのかな。結局チャットを作っちゃったのは、ドラマが原因なわけなんです。チャットって国は、これあの乾隆帝がいた頃っていつだったかな……。なんかあの国って昔から軍隊を持たない国で、何か自分の国で動乱があると全部中国のほうに助けを求めていたそうなんです。だから、結構ドラマが自分の国の民を、中国使って弾圧してたんですよ。これはどうなのかなというのが1つと、リアルチャット人に聞いたらどうも日本人が考えているチャット問題と現

地の人間が捉えたチベット問題、微妙に違うらしいんですよ。私たちはチベットって国を愛しているけど、別にそれはドラマ＝チベットと捉えないでほしいと。チベットという国はチベット人のための国であるということですね。だから、まあちょっとネットにあおられて簡単にフリーチベットというのもどうなのかなあ。

やっぱりチベット問題というのはイデオロギーだとか、思想とかそういうものが関連してくるんですけど、在特会というのはこれ自分達の生活にすごい密接に関わるから。私としては、まずそういう綺麗な思想よりも生活かな、と。今の（生活を）。

## 5. 在特会へ

### 《他団体への参加》

（最初に参加した集会は）確か外国人参政権反対だったような気がします。一番最初の時。12月だったから、2009年だったような。で、それからずっと時間がたって、翌年に在特会を知ったような気がするんですけど。

（在特会につながるような関心は）最初はホメオパシーのあたりから。保険法の改正の。だから2009年から。それまで在特会って知らなかったんです。（ホメオパシーに関心を持ったのは）なぜかというとその頃から私ネットを本格的にやるようになってたんです。その前はあんまりネットってやってなかったから。仕事も忙しかったし。だからそういう政治活動している市民団体があること自体知らなかったんですよ。そのときまでずっとそういう団体があることも知らなかったの。まあ、2チャンネルの集まりとかそういうのに出ていたんです。2ちゃんねるはどっちかというとき時事ネタとかそういうので、あんまり政治は興味なかったんです。

（2ちゃんねるの）掲示板で、たとえば××で外国人参政権反対運動があるよって、そういうのに出てたんです。で、まず最初に△△の集会に行って、チラシ配っている方からチラシをもらって、確か最初は〇〇と□□のデモに行った気がするね。鳩山さん外国人参政権を積極的に推奨しているというので、じゃあやっぱりその外堀を埋めるのに出た方がいいと。（彼らがやっていることを）1つ1つつぶしていく。外国人参政権についても、日本の法律が選挙というのを国民が権利を持つのであって、権利をないものに受けてはいけないって書いてあるんでしょ。やっぱり私国家というのは、法律でなっていると思うんですよ。左側の人たちは何か感情的になっているから、感情で国が動いたらこの国どうなっちゃうのかなって。

（集会は）面白いとかそういうのではなかったような。まあでも、自分たちの主張っていうのは少しは通じたかなと思ったんです。行くっていうのは面白いか面白くないかじゃないし、まあとりあえず誰かが声を上げないと、こういうのって決まっちゃうような気がしたんです。（そうした集会参加は）1人。私、〇〇出身だから〇〇の人間って結構頭にかつと血が上っちゃうと1人でつぶしちゃうんです。これは間違ってるなと思ったら間違っているって言っちゃうし。

（外国人参政権について）政治的にはちょっと興味はなかったんですけども、ただ私昔話とか結構好きでしたから、たとえば世界で一番最初の外国人参政権が成立した後に——エジプトのモーゼの伝説ありますよね。モーゼの前のダニエルですって、ユダヤ人がエジプトの偉いさんになっちゃって。今で言う不法入国ですよ。エジプトの地がユダヤ人ほとんど入ってきました。で、時代が下った時にエジプトの行政とかそういうのっていうのが、ユダヤ人によって全部されていった。彼らがあまりにも力を持ちすぎちゃったから、エジプトの公共工事とかそういうのがすごく動かなかった。そういう話を聞いて、昔話で聞いて、それちょっとどうなんだろうと思ってたんです。

ただ、日本には当時そんなに外国人いなかったから、遠い昔の話だし、日本関係ないやと思ってたんですね。（そうしたら鳩山さんが）地球は1つだと。私の周りも国境なんかいらんやないかという人が多かったんですね。誰かがそれに対してそれは違うよと言わないと、勢いとはとどまるところを知らなくなっちゃうなって。

### 《在特会への参加》

以前は私、どっちかという△△会に参加してたんです。今はああいう風になっちゃったけど、昔は△△会って一番おとなしい団体だったから、参加しやすかったんです。（デモへの抵抗は）なかったです。そんなに怖い目にあつたことないし。小さい頃私、××（反対運動が盛んな地域）で生まれたから、大人たちは結構集まっているなあという。ただその頃小さかったし。ただちょっと今までと違うなと思うのは、それまでは国を壊すとか、ひたすら日本人は悪い民族だっていうそういう考え方で、新しくできたデモというのは日本人は素晴らしいという風にといいのでちょっと違うなって思ってたんです。

最初の頃、××と在特会と△△の区別ってあまりついていなかったんです<sup>2</sup>。でね、まあ最初の頃は××

<sup>2</sup> いずれも極右の団体。

に出てたんですけど、ただ××で私ちょっといやだなあと思うのは、あそこ日本は核ミサイル持ちましようって宣伝するから、ちょっとそれは違うと思って。どっちかという和在特会は生活に密着したことを主張しているから、だからまあ主張していることは——口調は過激なんですけど、結構考え方としては穏健なのかなあと思って。でまあ、□□の在特会っておとなしいし。

みんなが捉えている在特会の像というのは、チーム関西取り上げて在特会だと思ってるんじゃないのかな。実際、在特会って県によって大分性格が変わってくるから。私の支部は意外と一番おとなしいんですよ。だから私はどっちかという、在特(会)でもおとなしい支部だから参加したなって思うんです。あまり暴れない。デモのときも、ちゃんと理屈をこう練って理論武装というのがいいな。「東京湾に叩き込め」くらいならまだいいけど、イケイケどんどん上等みたいな人たちがいるでしょ。たとえば、この間のビデオでチーム関西の方が、通行中の老婆つかまえて「朝鮮ババア」って言ったでしょ。あれ良くないなあ。もし自分の母親がそういうことされたら、どうするんだろうかって思って。無視すればいいじゃないですか。

#### 《なぜ外国人が問題なのか》

ちょっと思い出しますね……。震災の後でいろいろ記憶が消えちゃって……。ええとね、外国人参政権でしょ。人権擁護法案っていうのは在特が取り扱ったのかしら……。あれも違うか、あれは××か。あ、小沢改革で何かあったような記憶が……。何かちょっと××とごっちゃになっていて……。アンチ民主です。私たちの生活を追いやるような政策ばかり……。

あ、子ども手当。一番これ騒いだのが子ども手当。だって結局、あの日本に住んでいない子どもにお金を払うわけでしょ。だったら丸川珠代さんみたいに、配るんだったら日本に住んで日本国籍を有する人間という風につければいいと思うんですけど。結局、あれも実施しちゃったから、1年に5兆円ずつ流れちゃうわけですよ。今、日本という国は借金があって、すごく財政が大変な時期なんだから、それはどうかと思うんですけど。実際に外国人たちに聞いたら、結婚して子どもいないんだけど、子ども5、6人いることにしてお金もらっている。

昔はそういうの一切知らなかったんですよ。大人になってから、他に在日の友達いますけども、そこまで普通そんなにあの「あなたのお母さんのくらい稼いでるの」って聞けないし。まあスルーしてたんですけども、たとえば今回の震災の一件で——韓国人じゃな

いんですよ——中国人の留学生に対して国が200万円でしたっけ、一時支払金出しましたよね。でもこれ日本人に対しては確かおうち流された人も17万円とかしか出さないと、逆に日本人差別じゃないのかなって思うんですね。

あたし石巻に行って知ったんですけど、そこのおうちの人たち全部流されて、空き家になったところに中国人が移り住んで、ここ私の家ですって言っているわけでしょ。石巻の人がこんな荒地に店出してたくましいなと思って、石巻の人に八百屋さん開いていましたよといったら、「おかしい」と。あそこは八百屋さんないし、そこのおうちのご主人、家族みんな流されちゃったはずだって。

私が危惧しているのは、中国人と日本人って物事の判断が全然違うんですよ。日本人は法律の範囲で動くとするけども、向こうは儒教の国だから。向こうってお父さんお母さんがこれをいって言うから、私をこれをやるとか。なんか一緒に暮らしていて「そんなことしちゃうの」っていうのが結構あるんですよ。でも中国人の子って「私たちの国ではこういうことが当たり前だから」って。

ただ私、「外国人の共生について、共生してもいいから、日本人と同じ権利を与えて」と思うんです。今の法律だと外国人が何かやっても、やはり日本人が悪いってことになっちゃうから。

#### 6. 普通に生活できる時代に戻すこと

はっきり在特会(のデモに出た)というのは、2010年です。たまたま仕事のシフトが空いている日とか。やっぱり月イチくらいでしょうか。(手伝っているのは)会長がデモに出れないんだったら、お手伝いというので。お手伝いってあんまりぴんと来なかったんですけどね、私にできることだったら(やります)。

やりがいがあることは、まず第一ですけども。確か参院選だったと思うんですけども、当時のなかで民主党が限りなく優勢だった時代がありました。私と在特の支部長とポスティングしたんですけど、あれがもう自民党がぎりぎり民主に差をつけて勝てたんです。私たちのような力のない人間が地道に活動すれば、やっぱり民意というのを政治に反映させることが手ごたえを感じました。菅首相も国会でおっしゃってますよね。私のやり方について誰も反対意見を述べてないから、それは国民の皆さんが私を期待していると。ただ私はデモに出る以外は、ちまちまポスティングして、「こういうことをやりますよ」というのは前からやってたんですけどね。

(究極的には)この国を元の90年代の日本に戻し



たいということじゃないかなと思います。80年代か90年代の。昔の自民党がこう政権を治めていた時代、何も考えないで普通に生活できる時代に戻すことかな。やっぱり女性っていうのは、今の生活を守りたいというのがあるんです。

## 7. 結語に代えて

E氏の場合、必ずしも一貫した論理を持っているわけではない。在特会につながる関心を持ったのはフリーベットであるが、それを排外主義へと直接結び付けていくような回路にはなっておらず、その後生じた民主党政権への反感とが渾然一体となっている。ただし、そうした明確さを欠く意識が行動にまで至る背景として、「女性っていうのは、今の生活を守りたい」という生活保守主義がある。1980年代に自民党が勢力を盛り返した背景として生活保守主義が指摘されてきたが、奇しくもE氏は80~90年代の「何も考えないで普通に生活できる時代」にノスタルジアを感じていた。ここで彼女がいう90年代とは、55年体制が崩壊する以前の、生活実感としては長期不況に入る以前の日本を指しているだろう。

現実問題として、90年代半ば以降の日本は今に至る「失われた20年」を経験してきたが、そこで噴出したさまざまな問題の原因は一口に語れるものではない。ニューカマー外国人の増加は、そうした原因の一端にすらならないだろう。ましてや、戦後ずっと居住し続けてきた在日コリアンが、事態を悪化させたというにはSF並の空想力が必要となる。ここでいいたいのは、東アジア諸国への反発→在日外国人の敵視という筆者の仮説とは異なる回路がE氏には見られることだ。「住みにくくなる日本」という茫漠とした感覚をもたらす犯人を探すなかで、排外主義的な主張に行き当たってそれに易々と呑み込まれてしまう。これは、西欧の極右研究でつとに指摘されてきたことである。E氏の場合、外国人の敵視は経済的な水準には及んでいないが、そうした結びつきが今後なされるとすれば、日本の経済的没落と外国人を結びつけた議論が受け入れられる素地はある。現在は、地政学的要因に基づく排外主義の主張の方がもっともら

しく聞こえるだけで、状況の変化に応じて排外主義の根拠も変化するかもしれない。

そう考えると、不満を社会運動の源泉とする古典的  
社会運動論は、排外主義運動に関しては説明力があるようにみえる。しかし、資源動員論を経て再度提示された「不満」をめぐる議論は、不満が運動組織と潜在的構成員の間で、あるいはピア・グループの内部で構築されることを重視するようになった点で異なる(Noakes & Johnston 2005)。つまり、「不満」がプッシュ要因となって運動に駆り立てるといよりは、「不満」を作り出すインフラというプル要因に眼を向けなければ説明できない。その点でいえば、E氏が何の気なしにみたネット上の情報というインフラがプル要因になった経験は、他の多くの在特会会員にも共有されている。これについては、稿を改めて論じたい。

## 文献

- Buechler, S. M., 2004, "The Strange Career of Strain and Breakdown Theories," D. A. Snow, S. A. Sould and H. Kriesi eds., *The Blackwell Companion to Social Movements*, Oxford: Blackwell.
- McAdam, A., 1982, *Political Process and the Development of Black Insurgency, 1930-1970*, Chicago: University of Chicago Press.
- McCarthy, J. D. and M. N. Zald, 1987, *Social Movements in an Organizational Society*, Piscataway: Transaction.
- 松本康, 1985, 「相対的剥奪と社会運動——相対的剥奪論の再生は可能か」『思想』737: 102-123.
- Noakes, J. A. and H. Johnston, 2005, "Frames of Protest: A Road Map to a Perspective," H. Johnston and J. A. Noakes eds., *Frames of Protest: Social Movements and the Framing Perspective*, Lanham: Rowman & Littlefield.
- Oberschall, A., 1972, *Social Conflict and Social Movements*, New Jersey: Prentice Hall.

(付記)本稿は科学研究費補助金による研究成果であり、稲葉奈々子、申琪榮、成元哲、高木竜輔、原田峻、松谷満の各氏との共同研究によっている。記して感謝したい。